

2020 年度第 4 回ルール委員会議事録

開催日時:2021年3月6日(土)10:00~16:00

開催場所:オンラインミーティング(ZOOM)

参加者 :増田委員長、大村副委員長、前園副委員長、加藤副委員長、今津委員、木内委員、日下部委員、高谷委員、大庭委員、柴沼委員、松原委員、古川委員、石川委員、田中委員、岡部委員、山口委員、高野委員、富田委員、佐藤委員、渡辺(勝)委員、富松委員、黒木委員、吉本委員、宮崎委員、浅田委員、渡邊(範)委員、藤井委員、三輪委員、川北顧問委員、村松顧問委員、南原(記) 計 31 名 ※順不同

1. <協議>NJNU 規程の改訂

- NJB 認定の規定には、条件を満たさない場合の試験合格有効期限がない。NJA と整合させるべく同様な有効期限を設けるべきとの提案があり、委員から意見が出された。

これらの意見を踏まえ、次回 RRC までに三役+ジャッジ小委員長で協議し、再度提案することとなった。

<主な意見>

- NJA は以前、2008 年に船舶免許所持を加えるなどの資格要件変更した時に、合格後にこれらの追加要件を満たすための期間としてこの有効期限を設けた。それ以前はなかった。NJB は認定条件の追加がなかったため、有効期限を設ける必要性はないとして設けなかった。有効期限を設定した当時の目的は既に達せられたのだから、逆に NJA と NU の有効期限の規定を削除する検討もあり得るのではないか。
- 有効期間を設けた方が年齢条件、回数未達者が受験できるという NJB 保有者を増やすために良い面もある。
- 現行規程では NJB の新規認定においては、審判実務経験に運営補助などのカウントも認めている。これを NJA と同様にジャッジ経験に限ることとセットで合格有効期限を設ける改定を行い、合格後の有効期限内にジャッジ経験を積んで貰うことを薦めてはどうか。
- JSAF 会員数減少課題への対応として、NJB 取得を機会として会員継続してもらおうというなど、対応の方法として考慮すべき。

2. <報告>RRS 改定 WG 報告

- RRS2021-2024 改定に関して実施した事項を報告
- RRS 改定前年はレースオフィシャルズ3委員会の連携が特に必要である。
- ウインドサーフィンの競技規則で RRS から外れたエクспレッションとスピード競技の翻訳および発行形態については、それぞれの大会の開催状況からして必要性は低いと思われるとの意見が出された。
- WFRR のアプリへの追加については、アプリに容量の制限が有るためケースブックを追加した状況のみを協議することとなった。

3. <報告>上告裁決

- 本件の提出文書等は、従来の郵送でのやりとりではなく e メールを利用した。
- コロナ禍もあり、最高審判委員会を、初めてオンラインで開催したが、モデルシップを用いた委員間の協議ができず、改善の余地を残したとの報告があった。

4. <報告>小委員会活動報告

4.1 ジャッジ小委員会

- NJA 新規認定を 4 月に三重県で開催予定

- ・NJA 更新講習を実施、未受講者(42名)講習を4月・5月に開催予定
- ・NJB は新規認定2か所、更新28か所開催

4.2 アンパイア小委員会

- ・NU 認定 2020.12 に1名新規認定
- ・アンパイア制のイベント中止相次ぐ、NU 更新講習は今後のすべてのイベントで実施できるようアセッサーを派遣する。

4.3 IJIU 育成小委員会

- ・2020年は主要大会がすべて中止または延期となり、派遣は行わなかった。

4.4 外洋規則小委員会

- ・オフショアワールドの中止
- ・RRS 改定に関わる対応を実施(講習、セールナンバーの色、ハルの定義)
- ・パリオリンピック採用のオフショアダブルハンドの普及促進に向けた情報収集実施
- ・「セールと対照的な色」については定義できるものではないため、社会通念により判断するのが妥当であろう。

4.5 規程管理小委員会

- ・WS 規定、付則 KG/LG 順次翻訳し HP に公開実施
- ・<提案>WS 懲戒規定 翻訳版の公開について →承認された
- ・正誤表-2 RRS25.1 邦訳見直しを公開する。(製本第2版には反映、アプリは4月末反映)

4.6 普及小委員会

- ・指導者・選手向け講習 2月末までにオンサイト2回、オンライン4回実施
3月以降、オンサイト1回、オンライン3・4回の計画
- ・受講者アンケートでは年齢カテゴリー別、スキルレベル別、42条といったターゲットを絞った講習の開催要望が有った。
- ・<意見>受講者アンケートをもとに、要望の高いものを映像化しeラーニング化することの検討を。

5. その他

5.1. <報告>WS 委員等へのアポイントメント

- ・IJ サブコミッティー:増田委員長、IU サブコミッティー:今津委員
- ・従来は JSAF 国際委員会事業としていたものが、ルール委員会事業となる。

5.2. <報告>事務局からの報告

- ・ルールブック製本版 初版3000冊完売(第2版300増刷中)
- ・アプリ版販売状況 ダウンロード数440(iOS:350、android:90)
- ・NJNU 認定状況統計(男女比等)
JOC アンケートへの回答として審判員の年齢別、男女の人数調査をし、紹介された。

5.3. その他

- ・ラジオセーリングコールブックは翻訳の必要性が有るか。
ラジオセーリング団体が一本化されておらず現時点で情報が無いため、情報収集を行う。

以上